

第七 地租條例違反事件ノ通知

明治十八年本省第三九〇二號達ニ依リ地方廳へ通知スヘキ地租條例違反等ハ爾後所屬稅務管理局へ通知スヘキモノトス

(福岡地長代理判事問二九ノ一二ノ二〇刑甲第四三三號局長回)

(參照)

明治十八年司法省第三九〇二號達

地租條例其他稅則違犯ニ係リ處分濟ノ後脫稅ヲ追徵スヘキ事件ハ地方廳ニ於テ承

知不致候テハ處務上差支ヲ生シ自然脫漏ノ虞モ有之趣ニ付自今右等ノ事件有之候

節ハ裁判確定ノ後宣告書寫ヲ以テ直チニ地方廳へ通知可致此旨相達候事

第八 登記ニ關スル犯罪ノ通知

不動産及ヒ船舶登記ニ關スル犯罪取調ニ付テハ自今別紙朱書ノ例ニ倣ヒ重輕罪第一

審登記簿欄外ニ其犯狀詳細記載セシムヘシ

但本件ハ刑法第三百九十三條ニ該當スルモノハ勿論數罪俱發ノ場合他罪ヲ以テ處分

セシモノト雖モ巧ニ登記法ヲ利用シ不動産船舶ニ關シ奸計ヲ逞フスル等ノモノハ總

テ洩レナク取調記載スルコトヲ要ス

(二六ノ三ノ一五記甲第三三四號記錄課長通牒)

(別紙雜形略)

(參照)

刑法第三百九十三條

他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當典物ト爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

自己ノ不動産ト雖モ已ニ抵當典物ト爲シタルヲ欺隱シテ他人ニ賣與シ又ハ重ネテ抵當典物ト爲シタル者亦同シ

第五章 犯數及件數ノ計算

第一 犯數計算

(一) 既決犯罪事件犯數計算方ニ付左ノ例ニ於テ其計算方ニ

判決年月日	罪名	刑名	刑期	對席別	犯數
一 明治二十八年一月十日	竊盜	重禁錮	一月	對席	初犯
二 明治二十八年二月一日	同	重禁錮	二月	對席	初犯
		監視	六月	對席	初犯
		前判刑ト通算			再犯

第五章 犯數及件數ノ計算

二四

三	明治二十八年五月一日	竊 盜	重禁錮 四月	對席	再犯	再犯	三犯
四	明治二十八年十一月一日	監視逃犯	重禁錮十五日	對席	初犯	初犯	四犯
五	明治二十九年一月十五日	竊 盜	重禁錮 八月	對席	四犯	三犯	五犯
六	明治三十年三月一日	強 盜	重懲役 六年	對席	初犯	初犯	六犯
七	明治三十年五月一日 同年七月十五日確定	囚徒逃走	重禁錮 三月	缺席	初犯	初犯	七犯
八	明治三十年七月二十日	竊 盜	重禁錮 三年 監視前判利ト通算	對席	六犯	再犯	八犯

(甲計算方)

ハ後ノ判決ニ於テ加等ノ條ヲ適用シタル場合ニアラサレハ犯數ヲ加ヘス故ニ第二罪第八罪ノ如キハ前犯ノ餘罪ニ付第二罪ハ尙ホ初犯トシ第八罪ハ前ノ犯數ニ止ム然レトモ第四罪七罪ハ同刑期中初度ノ犯罪ニシテ素ヨリ初犯トスト雖モ後更ニ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ之ヲ犯數ニ算入セリ要スルニ甲ハ確定判決ニシテ其執行セラレタルモノノ數ヲ掲クルモノトセリ

(乙計算方)

ハ殆ント甲ト異ナルナシト雖モ第四罪七罪ハ別ニ犯數ヲ計算シ他ノ重罪輕罪ノ

犯數ヲ加ヘサルモノノ如シ

(丙計算方)

ハ單ニ裁判ノ度數ヲ掲クルニ似タリ  
ノ三方法アリ右ハ乙ノ方法ヲ相當トス

〔德島檢正問三〇ノ一二ノ二民刑記甲第五四三號局長回〕

第二 刑事件數計算規程

第一條 刑事件數ハ檢事局ニ於テ最初ニ登錄シタル事件簿ノ進行番號ヲ基礎トス

第二條 同一ノ被告人ニ對スル數個ノ犯罪事件ハ併セテ之ヲ一件トス

共犯ニ係ル犯罪事件ハ發覺ノ日時ヲ異ニスルト否トニ拘ハラズ併セテ之ヲ一件トス

前二項ノ場合ニ於テハ豫審若クハ公判ニ於テ併セテ審理スルコト能ハスト認メタルトキニ限り之ヲ別件トス

第三條 附帶犯罪ニ付テハ第二條ヲ準用ス

第四條 附帶犯罪ニアラスト雖モ其事實互ニ相牽連シ同時ニ發覺シタル犯罪事件ハ之ヲ一件トス但贓物ニ關スル犯罪及ヒ賭場開帳ハ此限ニ在ラス

第五條 被告人ノ誰タルヲ知ルコト能ハサル事件ハ左ノ場合ヲ除クノ外之ヲ件數ニ計算セス

- 一 檢事ニ於テ臨檢又ハ見分ヲ爲シタルトキ
- 一 特ニ司法警察官ニ命シテ臨檢又ハ見分ヲ爲サシメタルトキ
- 一 豫審ヲ求ムルトキ

第六條 故障事件ハ件數ニ計算セスシテ之ヲ別號トス

第七條 左ノ事件ハ之ヲ件數ニ計算ス

- 一 不起訴處分又ハ豫審免訴後新ナル證據ヲ發見シ搜查ニ着手シタルモノ
- 一 上級裁判所ノ送致移送又ハ差戻ニ係ルモノ
- 一 上級官廳ヨリ起訴命令アリタルモノ
- 一 他管送致事件ニシテ其返還ヲ受ケタルモノ
- 一 支部ノ豫審終結決定ニ因リ重罪又ハ本廳ノ輕罪公判ニ付シタルモノ
- 一 公判判事ヨリ偽證事件トシテ豫審判事ニ送致シタルモノ
- 一 刑事訴訟法第四百十二號ノ場合ニ於テ豫審判事檢證調書ヲ作りタルトキ
- 一 違警罪即決裁判ニ對シ正式裁判ヲ請求シタルモノ

第八條 司法警察官ヨリ事件ヲ送致セスシテ單ニ報告ニ止メタルモノハ之ヲ件數ニ計算セス

〔三八ノ六ノ二八文統甲第三四五號訓令〕

明治三十九年十月十日印刷  
明治三十九年十月十三日發行

正價金七拾錢

東京市麹町區富士見町五丁目十九番地

編纂者 穴戸深藏

同編者 吉野徳一

同編者 原田良實

發行所 刑事學會

發行者 東京市芝區田町六丁目四番地

印刷者 福島宜三

印刷所 東京市日本橋區兜町二番地

東京印刷株式會社

樞密顧問官 男爵 清浦奎吾閣下題字  
内閣書記官長 石渡敏一閣下校閱

司法省戶籍掛戶籍學會 幹事兼委員 穴戸深藏君  
司法省戶籍掛戶籍學會 委員 中村秀夫君  
司法省戶籍掛戶籍學會 委員 原田良實君  
司法省登記掛登記學會 委員 吉野徳一君

合纂

司法大臣 認可

訂正補司法省議類典

定價金壹圓五拾錢郵送料金拾錢(紙數一千四百餘頁總クローズ金文字入)

但裁判所及戶籍役場ニ限リ郵送料トモ金壹圓拾錢  
一版二版トモ既ニ賣盡シタルニ付今般三十八年六月迄ノ分ヲ増補シテ前版ヲ訂正セリ  
本書ノ特色ハ左ノ如シ

第一 戶籍ノ部ニハ戶籍法、寄留法ニ關スルモノノ外民法、人事訴訟手續法、非訟事件手續法中戶籍事務取扱方ニ關連スルモノヲモ悉皆類集シ親族相續ノ部ニハ民法中親族編相續編ニ關スルモノノ外之ニ牽連スル總則中ノ事項ヲ類集シ登記ノ部ニハ不動産登記、登録稅、商業登記、船舶登記ニ關スルモノノ外商法、非訟事件手續法等ノ内登記ニ關連スルモノヲモ悉皆類集シタルコト

第二 省議即チ訓令、通牒、回答ノ類集ノ順序ハ一見明瞭ナル配列法ヲ用ヒタルコト本書ハ此配列法ニ依リ見出ヲ付シ伺ト省議トヲ合併シテ決定ヲ掲ケ尙ホ明瞭ナラサルモノハ同答ノ全文ヲ掲載ス

第三 數種ノ著作物中往々省議ト稱スルモノヲ類集編纂シ之ヲ以テ一種ノ特色ト爲セルモノ多シト雖モ公ケニ爲ラサルモノハ概シテ變更シ易キモノニシテ之ヲ標準トセハ執務上却テ誤解ヲ來スノ虞アリ公ケニセラレタルモノノミテモ本書ノ類集セルモノ三三件ノ多キニ達セリ之ヲ實際ニ應用セハ幾多ノ法則ヲ生ス是レ即チ著者ガ多年執務ノ傍ラ一種ノ原則ヲ案出シタル所以ナリ之ヲ省議ノ外ニ類集セルカ故ニ通牒ト爲ラサル幾多ノ省議ハ此原則ニ基キ判斷シ得ラルコト又或ル省議變更ノ結果他ノ省議ニモ影響ヲ及ホスモノハ悉ク其趣旨ニ從ヒ訂正シタルコト

第四 事務取扱者ノ便ニ供スル爲メ各頁ヲ二欄ニ別ケ下欄ニ第一ノ配列法ヲ用ヒ上欄ニ正文ヲ條文ノ順序通リニ配列セルコト

第五 記載例ハ最新ノ省議ニ據リ書式トシテ掲載シタルコト即チ文言ヲ記シテ解シ難キモノト爲スノ迂ヲ避ケタルコト

第六 本書ノ購讀者ハ本書掲載ノ事項ニ關シ疑義ヲ生スルトキハ著者穴戸深藏氏ノ設立ニ係ル民友舍法律部(東京市麹町區富士見町五丁目十九番地)ニ質疑ヲ爲シ直チニ解答ヲ得ラルコト但一件毎ニ三錢郵券一枚ヲ添附セハ足レリ

第七 綿密ナル事項索引ノ外イロハ索引ヲ附シタルコト  
右ノ如キ特色ヲ有スル著書ハ全國無比ト云フモ過言ニ非サルヘシ

發行所

東京市京橋區五郎兵衛町二十一番地

會社 成文館

發行所

147  
56

司 風 戶 藏  
法 央 深 君 纂

人 事  
ニ  
ス  
ル

非訟事件申請書式類集

發 賣 所

成 文 館

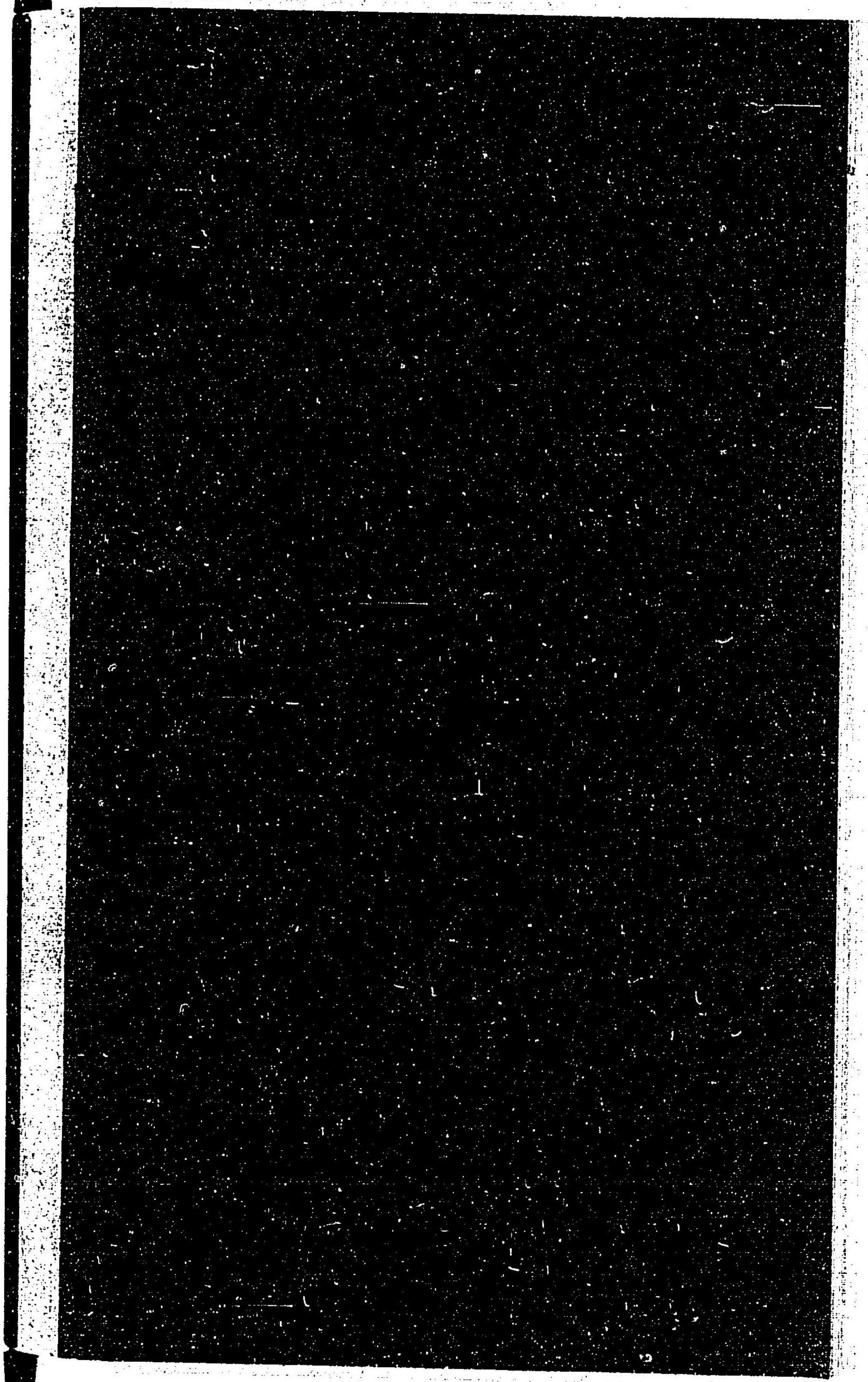
司 法 省 認 可  
地 方 裁 判 所 指 定

登 記  
學 會  
所 定

登記申請用紙

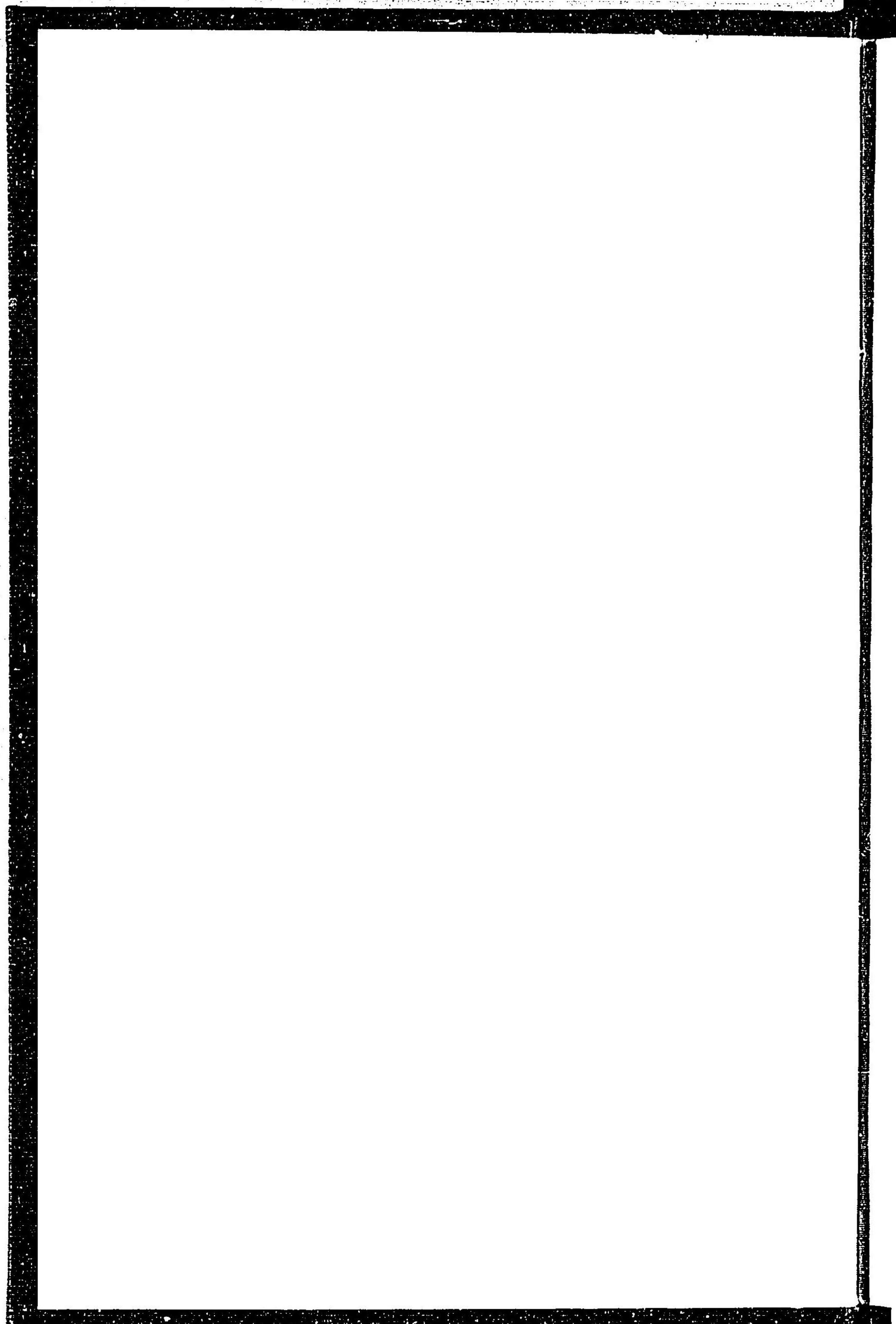
登 記 學 會 所 定  
登 記 用 紙 發 賣 所

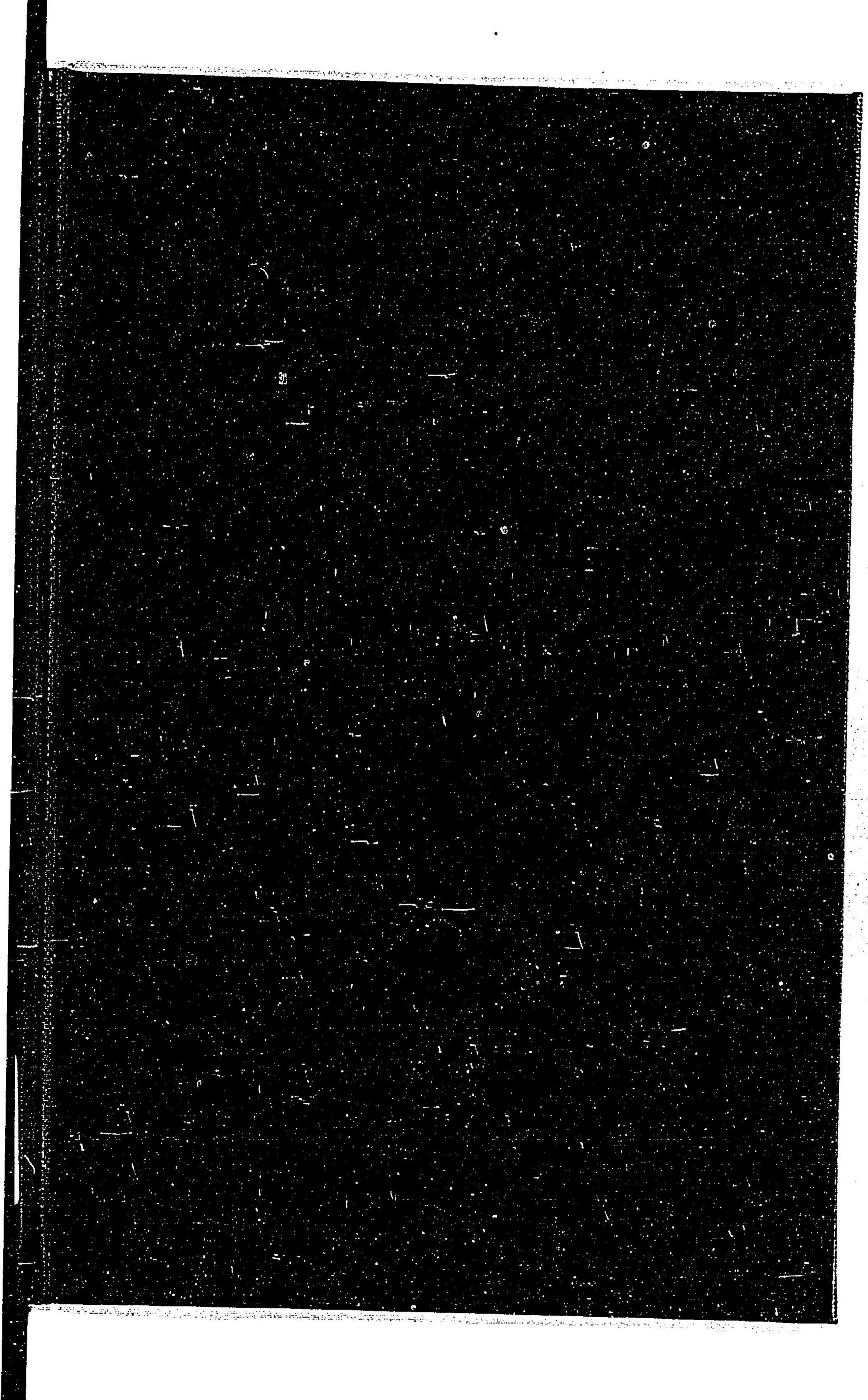
合 資 會 社 成 文 館  
東 京 市 京 橋 區 五 郎  
兵 衛 町 二 十 一 番 地











禁電子式複写

030995-000-4

CZ-5-082

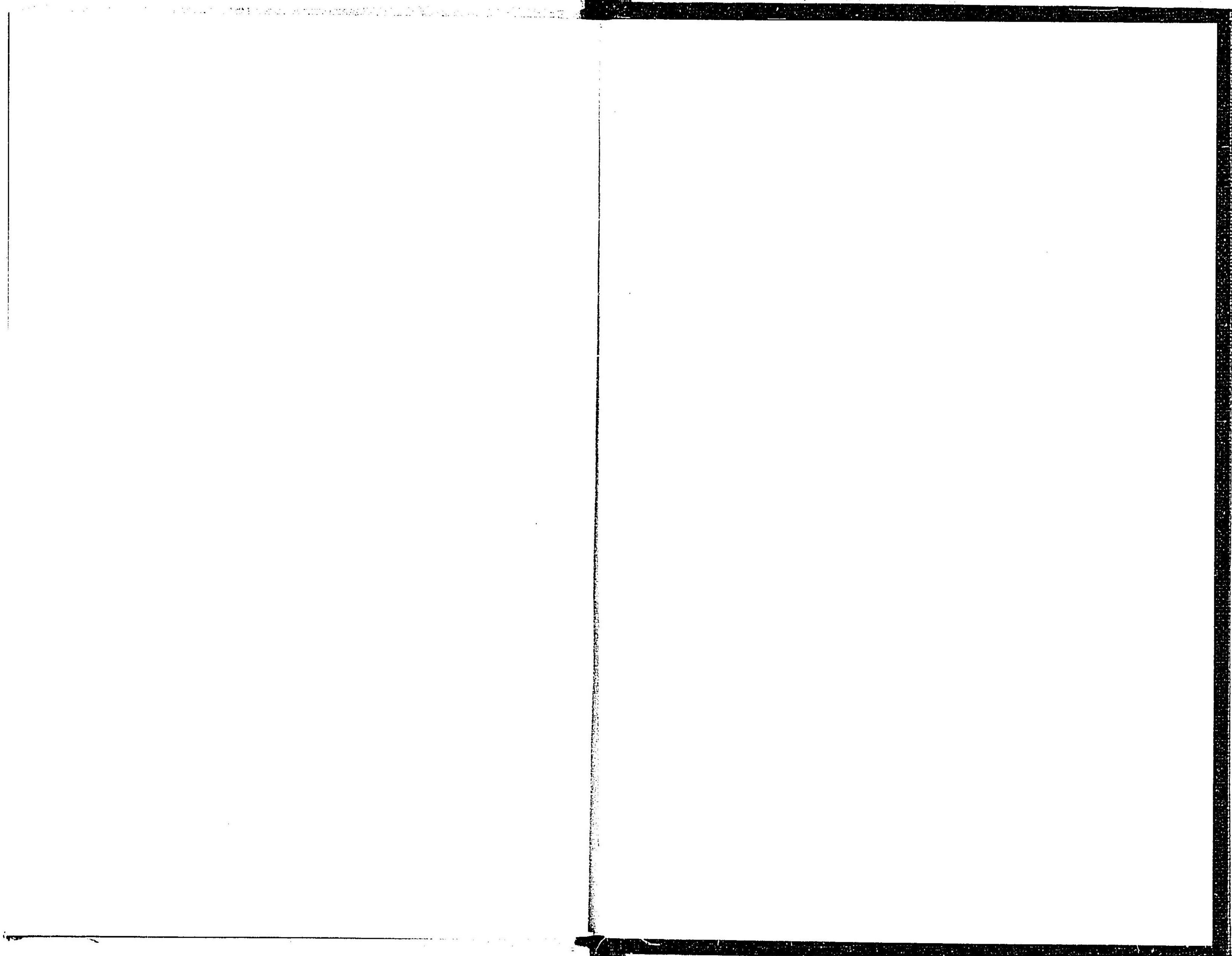
司法省議類典 第2部

六戸 深蔵/等編

M39

BBC-0462





477C-2

16